

## 入院体験記

氏名(匿名、イニシャル可) K.T. 年齢 73 性別 男 / 女  
病名(他の方の参考になるのでぜひ)  
入院日数 都道府県 内眼 有 / 無  
入院中に行った食事、日数 血圧の変動と骨密度の変動の記録  
体験記のSNSや外来、冊子等への掲載 可 / 不可 (回) 1回/2月。  
※掲載の際、実名は出しません。 1年以内です。

入院のきっかけ、入院してからびっくりしたこと、大変だったこと、楽しかったこと  
病気の症状の変化、体調、体重の変化など自由にお書きください。  
また、当院に対してのご指摘などございましたら、遠慮せずお書きください。こちらも励  
みになります。入りきらなければ裏もお使いください。

6日間の入院生活、今が人生における最後の希望と美滿に生きるための最後の  
65才で、病気が原因で倒れてしまい、病院には倒れ縁の手で運び込まれ  
66才バスと車の間にまっさかの下敷きとなり、胸にはまれ奇跡的に助かり  
即ち骨折ではなく筋挫傷が3ヶ月の入院、看護師は仕事を立ち仕事で立派な看護師です。  
私を強いてくれたのはお高野でした。感謝の気持ちでいっぱいです。(義理師)  
73才になります。今年、内科では血圧の指導を受けており、3ヶ月に1回の血液検査は  
いつも良好で、ちょっと面白では、太くならないと思われる時、この病院が回復入院の  
その後、満を持して入院となりました。私もこれから的人生、また、少し生きていく機会  
身体の状況を1つにまとめて、まずは井手さんのうどんをかどうじとお願いしました。  
無理も無く、井手さんとお話しして入院しました。

全く新しい生活(?)、(?)時を大切に毎日を送りました。6日間は辛いのは、  
食生活の見直しとあります。一番むずかしい問題は、カツ丼でした。このままでは、

この身体はきっと人それぞれ事情で、食の大好きなのです。自分一人の時は  
普通食に切りかえて、生活を豊かにすると思はず。  
病院では、看護師さんとお話しして、立派な初めの武之義其のほか  
最初にカレーラーの薬の説明、食事の説明があり、魚肉も山芋もスープで味付け  
できました。お味噌汁が欲しくて。

まずは、皆様の力(エロカ力)と、もう少し入院しなかったのです。  
お nærの方々の笑顔や元気な元氣や、患者の絶えぬ笑顔日々が、  
これほどスタッフに感動する(?)ひと、全く感動する(?)  
仕事を味わう(?)

生きのし会にはとても感謝です。私が朝後の時間ととまりて(?)  
田畠のコーヒーをつくづく飲んで、とくとくおしゃべり。昔の大學生と感じられる時間  
少しだけ、プラス志向が、性格が直すお酒で、おせり。自分(?)  
人のお酒(?)と(?)あります。本物の(?)の経験ありかとおこないます(?)  
基本の大切を極めます。